



Stage 1 +

このレベルでは英語が読めるって楽しい！と思ってもらえるといいですね。特に小さい頃は文字に対しての興味にかなり差があります。まだアルファベットもよく読めない子にフォニックスを教え込んでもあまり効果はあがりません。それどころか、「あ～英語を読むのは面倒だ！」と思うでしょう。ですからこの時期は多少時間をかけても子供達にまずアルファベットの大文字、小文字をきちんと区別して読めるように、書けるようにしてあげるといいです。

アルファベットの色々な教えから

ABCソング

まずはアルファベットのきちんとした発音を定着させるため、定番ABCソングを正しい発音で歌いましょう。ダンスなんかつけるとより楽しいですね。

ボール回し

円陣をくみ、ボールを回しながらアルファベットの歌を歌います。ボールを持っているときだけ歌います。

アルファベットラリー

二人組みになります。Aさんは自分の好きなだけABCを言います。そして Bさんはその続きを好きなだけいいます。突っかからずに上手に最後まで言えたペアがみんなから賞賛を受けます。

A: ABCDE

B: FG

A: HIJKLM

B: N

A: O

B: P

のように、どこで切るかは自由です。

タオル アルファベット

用意するもの～長いタオル、手ぬぐいなど

先生が言ったアルファベットの文字をタオルで作ります。きちんと書けないうちはカードを見ながらコピー。何度もやっているうちに早くなり形を認識できるようになります。



色々な音読の仕方

日本語教育でも今音読が重視されています。英語が上手になるためにもやはり英語筋肉を鍛える必要があります。そのために欠かせないのは音読。子供達を飽きさせず何度も何度も大きな声で音読してもらいましょう。

はないちもんめ Reading

2チームに分かれ、お互い向かい合います。「はないちもんめ」の要領で、読んでいるチームは相手チームに向かっていきます。読んでいないチームは相手が迫ってくるので後ずさりします。(そのまま立ち向かうチームあるかもしれませんが、それも楽しいです。)単純なのですがただ立って読んでいるよりずっとずっとエネルギーがでて自然と大きな声になります。

Focus Reading

1チームは最初から最後まで読みます。他のグループには担当箇所を決めておきます。たとえば *The Dog Tag* なら「got」が出てくるたびに立ち上がって「got」といって座る。何度も出てくるので面白いはず。最初から最後まで読むチームもただダラダラと読むのではなくメリハリがでます。選ぶ単語は本によって変えてみてください。どのレベルでもどの本でも応用できます。

フォニックス アクティビティー

フォニックス手品

シルクハットを用意します。なければ箱でもOKです。その中に1文字ずつ入れています。入れたあとみんなで

Masumi put the 'C' in the hat. k k k k k

Masumi put the 'A' in the hat.....ae ae ae ae

Masumi put the 'T' in the hat. t t t t t

なんという単語が帽子の中で出来上がっているかを答えます。

Students: CAT!!!

あらかじめ入れておいた 単語のカードをだします。

単純なゲームなので普通にやっては面白くありません。是非、マジシャンの気持ちになってやって見ましょう。

Stage +1を教えていたら、ある一年生が鼻を膨らませながら、「ねえ、あのアブクドっていうのできると英語って読めちゃうんだね！」っと得意げに私に言ってきてくれました。実際はそうではありませんが、それでもいままで文字をあまり意識したことのなかった一年生にとってこれは大発見です。子供達は自分達から「そうか～～！」っと思った時が一番色々なことを吸収し覚えているはず。ぜひ、発見の多い、*Floppy's Phonics*を展開してください。